



8月の月間目標



じぶんのおてつだいをまいにちつづけよう！

子どもは、いろいろな体験することで学び、成長していきます。お手伝いも体験の一つです。子どもは、家庭でお手伝いをすることで、工夫することや、自分の役割を果たすことの大切さを学びます。また、役に立つ、周りから感謝されるという体験を積み重ねることで、自己有用感も育んでいきます。

家庭でできるお手伝いを親子で考え、毎日お手伝いをする習慣を付けていきましょう。

発達段階別「お手伝い」のポイント



幼児期前期

まずは、簡単なお手伝いから始めてみましょう。

例えば・・・

- ・おもちゃを片付ける。
- ・新聞を取りに行く。
- ・玄関のくつを並べる。

幼児期後期

簡単なお手伝いができるようになったら、少し難しいお手伝いをしてみましょう。

例えば・・・

- ・配膳の準備をする。
- ・洗濯物をたたむ。

学童期

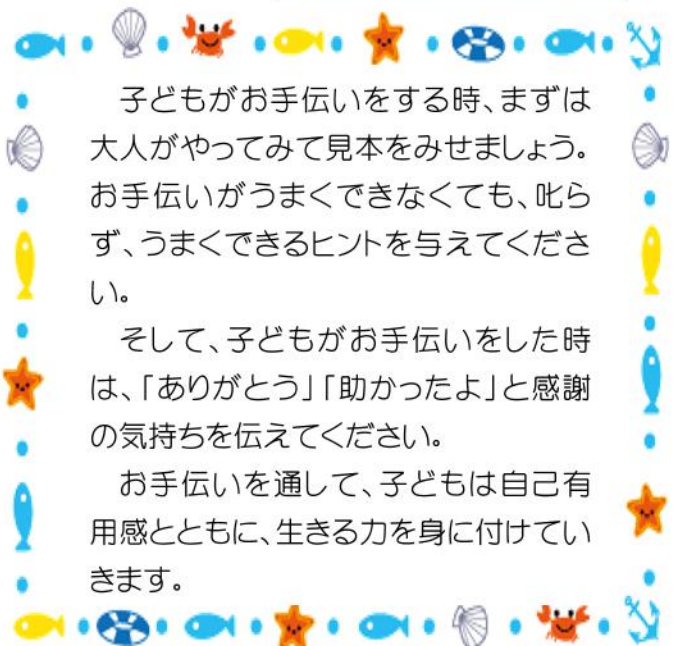
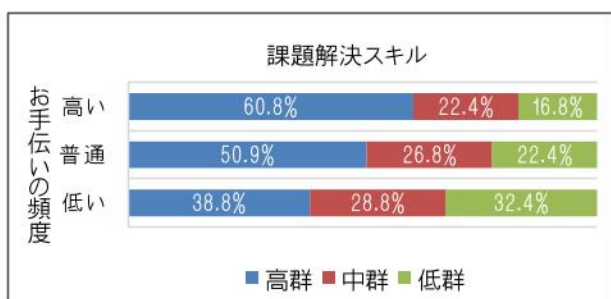
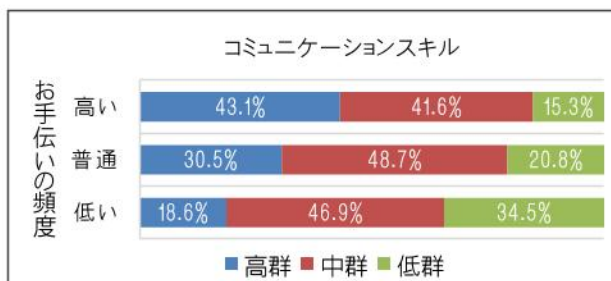
家族の一員としての責任をもつお手伝いに挑戦しましょう。

例えば・・・

- ・毎日お風呂掃除をする。
- ・ペットの世話をする。
- ・料理の手伝いをする。

お手伝いすると・・・

「子供の生活力に関する実態調査」(国立青少年教育振興機構 H27.5)によると、お手伝いの頻度が高い子どもほど、コミュニケーションスキル等の生活スキルが高い傾向が見られます。



子どもがお手伝いをする時、まずは大人がやってみて見本をみせましょう。お手伝いがうまくできなくても、叱らず、うまくできるヒントを与えてください。

そして、子どもがお手伝いをした時は、「ありがとう」「助かったよ」と感謝の気持ちを伝えてください。

お手伝いを通して、子どもは自己有用感とともに、生きる力を身に付けていきます。



毎月第3日曜日は

「家庭教育・家庭の日

(いきいきセンター)です



家庭教育 Web ページ